



放課後デイサービス  
まごころライト

### それぞれのサンタクロス…

今年もあとわずかとなりました…

子供たちにとっては一大イベントのクリスマスがやってきます。飾り付けでサンタクロスを作ってもらいました。見本を見ながら作るのですが、なぜか？（笑）それぞれ個性的なサンタクロスができあがります。2階へあがる階段や入り口に30人近いサンタクロスが並んでいます。25日には、みんなのところへサンタさんが来てくれるといいなあ…と思います。



放課後デイサービス  
まごころレフト

### クリスマスに向けて

先日、足湯用の温泉を購入に池田温泉まで行った時に、池田山まで歩いてきました。山道周辺にはリースになるような枯れ木が落ちていたのでクリスマスツリーに上の写真のようなものを作ってみました。

毎日、少しずつこの（子ども曰く）お化けツリーに飾り物を付けてくれています。

12日の時点では下の写真のようにツリーらしくなってきました。

さをり織りのリボン、手作りリース、お人形、サンタさんの塗り絵など、子どもたちの夢が形となってきています。クリスマスが楽しみです。



### デイサービス通信

大正～昭和～平成～令和



デイサービスには大正生まれの97歳の利用者さんがおられ、月曜は平成生まれの20歳の利用者も集っています。ある日そこへ元職員が生まれて2カ月の赤ちゃんを連れて訪れました。利用者さんは恐る恐る赤ちゃんを抱っこしたりして、その日は4世代が和やかに集う日になりました。

この秋には美術館鑑賞、紅葉見学、喫茶店でおやつ休憩等、戸外への計画も楽しんでいただきました。来年も良い年でありませうように！



### つぶやき



神の手

この頃、遅ればせながら人間の寿命について改めて考えている。

私自身26歳の夏に頸椎損傷となって名大病院に入院し、生死の世界をさまよった。昭和33年当時、頸椎を損傷したら命が無いというのが共通認識だったのだ。そんな中を、不思議にも87歳までも生き抜いている。

私は6人兄弟の長男で、上3人が年子、4人目が弟で下2人が妹。その4人目の弟が兄弟の中では病気一つしたことがなく、私の通院の付き添いに一日付き合ってくれる以外は病院へ行ったこともない健康体であった。その弟が4年前に散歩中に意識が薄れて動けなくなり、入院したがあっさり亡くなってしまった。

全身不随の私がこんなに長生きしているのに、一番長生きするだろうと思っていた弟が一番先に死んでしまうとは「寿命とはいったい何だろう」と考えざるを得なかった。

ところが今年6月以降、急に白内障が進んで、細かい文字の読み書きが困難になり、眼科を受診したところ、頸椎損傷の高齢者という条件がハイリスクで命に関わる手術だと言われた。私は今迄大きな手術を受け、その度に危機を乗り越えてきたので、生命のたくましさを感じており、神様が握るメスだと信じて手術を受けてきた。だから眼科の先生が厳しいリスクを細々と伝えてくれたが私の手術を受ける意志は変わらなかった。

神の手のメスと信じる手術台

澤田 清敏



### ケアマネジャーの目

最近よく聞く、意思決定支援 その1

2017年・障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン策定  
「私たちの事を私たち抜きで決めないで」

2018年・認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定ガイドライン策定

・人生の最終段階における医療の決定プロセスにおけるガイドライン改定  
ACP「アドバンス・ケア・プランニング」  
これからの治療・ケアに関する話し合い。

本人中心の支援が問われています。障害福祉も認知症も医療も本人の声・意思を尊重すること。それぞれのガイドラインが策定されていますが、基本的な考え方は同じ、共生社会への実現に向かっていきます。

### ～知っておきたいヘルパーの知識～

「一年を振り返るメリット」

令和になり初めての年末を迎えます。どんな一年でしたか？

今年印象に残っている、良かったこと、悪かったこと、そこから学んだこと、今後どう活かせるかな？と振り返ってみてはいかがでしょうか？

〇〇があったなー でもあの時・・・

振り返るということは、自分自身としっかり向き合う時間を作るということ。今年一年頑張った自分と向き合ってみましょう。そしてその時助けてくれた周りの人への感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

利用者さんとの会話からもきっとすばらしい話が聞けますように！